

御池沼沢ニュースレター

令和8年5月22日 Vol.147

5月16日(土)に第1回自然観察・保全体験会をおこないました。最初は東部指定地のノハナショウブの開花状況を観察に行きましたが、咲いていませんでした。

西部指定地に移動して、モウセンゴケ・トウカイコモウセンゴケ・ヘビノボラズ・トキソウを観察しました。その後、観察橋付近で抑制植物のヨシを刈り取る保全体験をしました。観察会の講師である木村裕之さんは昆虫にも造詣が深く、西部指定地で外来種であるアオスジアゲハの産卵が見られると、くわしく解説してくれました。参加した小学生の子どもが懸命にメモをとっている姿は、運営する側として大変嬉しく感じました。



アオスジアゲハ



アオスジアゲハの卵



観察会の様子

今回のニュースレターを記している田中は、御池沼沢に関わり2年が過ぎました。3年目に入り知見を広げるため、同じ国指定天然記念物『深泥池生物群集』(京都市北区)を訪れました。氷河期から続く古い池で、独自の希少植物が群生しています。御池沼沢と違うのは深泥池では浮島があること、水生植物が分布していることです。ジュンサイやタヌキモがあります。御池沼沢もかつては大池なので水生植物が生育していました。ところで、この「深泥池」は古典文学の説教節『小栗判官』に登場することをご存じですか? 『小栗判官』の中に深泥池の主である「大蛇」が美女に化けて小栗を誘惑するシーンがあります。実際、現地に立つと、「文学」と「自然」を満喫できますよ。



深泥池生物群集(京都市北区)



深泥池ではカキツバタが咲いていました(5月上旬)

6月の活動予定 午前9時30分から

- 6月3日(水) 西部指定地 タケ駆除、ミミカキグサ範囲抑制種除草
- 6月10日(水) 西部指定地 観察路を含めた中央観察橋付近除草
- 6月20日(土) 東部指定地 観察路除草、ハルリンドウ、ミクリガヤ
周辺除草・観察・計測

6月13日(土)実施予定「自然観察・保全体験会」の参加者を6月8日(月)まで募集しています。上の二次元コードにて

